

令和 7 年度 施策評価表

施策	1903	公園・河川の整備	施策担当部	都市整備部	部長	田中 祐二
			施策担当課	河川公園課	課長	金原 剛蔵
施策の方針	計画的な公園の整備と維持管理を行うとともに、緑化の推進に取り組む。また、安全で親しみのもてる河川・海辺空間の整備や維持管理を行う。					
関連するSDGsのゴール	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>15 陸の豊かさを保ち増やそう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R6年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 一人当たりの都市公園面積	㎡/人	6.6	6.6 6.6	8.4 6.6	8.4 6.7	8.4 6.9	8.4	82.1%	82.1%
② 地域団体が管理する公園数	公園	45	47 47	48 47	49 47	50 47	50	94.0%	94.0%
③ 親水空間の設置箇所数	箇所	23	24 23	24 23	24 23	24 23	24	95.8%	95.8%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①R6年度は、西九州新幹線の整備に伴い、梶ノ尾公園の区域変更により、都市公園（共用）面積が増になったため、一人当たりの都市公園面積が微増となった。
 ②R6年度は、新規加入がなく、現状維持となった。
 ③R6年度は、新設設置箇所が無く、現状維持となった。

施策経費

(単位:千円)		R6年度 決算	R7年度 予算	R8年度 見込	特記事項
内訳	事業費	580,304	1,122,312	1,460,416	
	国庫支出金	138,055	195,777	383,750	
	県支出金	176	177	177	
	地方債	105,700	217,700	388,100	
	その他	8,830	9,160	11,655	
	一般財源	327,543	699,498	676,734	
	人件費	37,774	41,330	—	
フルコスト	618,078	1,163,642	—		

施策の概要（細施策）

190301	公園の整備・維持管理	安全で魅力的な公園を目指し、「大村市公園施設長寿命化計画」に基づき、設備等の計画的な補修・更新を行います。 また、大規模なスポーツ大会への対応や市民スポーツの推進などを図るため、「大村市総合運動公園」の早期整備を行います。 さらに、「大村市アウトドアランドデザイン」に基づき、公園の施設リニューアルを図ります。
190302	地域住民と連携した公園の維持管理と緑化の推進	美しく潤いのある環境づくりを目指し、地域住民と連携した公園の維持管理や、花に関する住民参加型イベントを実施することで、緑化意識の高揚を図り、緑化を推進します。
190303	河川・海辺空間の整備・維持管理	河川環境の保全や水辺空間の創出など、災害に強く、安全で親しみもてる河川の整備を目指し、郡川やよし川等の河川改修を計画的に進めます。 また、海岸部においては、海辺に親しみもてる空間の整備に努めるとともに、プレジャーボートなどを係留する港湾施設についても、県と連携しながら魅力的な海辺空間の整備・維持管理に取り組みます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

- ①大村市総合運動公園は、1期事業として平成13年度から事業に着手しており、令和3年度には、当初、2期事業で整備予定の「憩いの広場」を1期区域に変更し、令和10年度までの事業期間で整備を進めている。今後、各競技団体と協議を行いながら、令和10年度の完成を目指し、公園整備の推進に必要な予算の確保が必要となる。
- ②公園維持を委託している地域団体の多くは、急速な高齢化により公園の適正な維持管理活動が困難な状況となっており、地域団体と今後の管理方法について協議する必要がある。
- ③物揚場改修工事（県工事）に伴うプレジャーボート一時移動のスムーズな対応が必要である。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

- ①大村市総合運動公園については、令和7年度から個別補助事業から社会資本整備総合交付金へ移行されたため、要望額に対する内示率が低くなることが予想される。そのため、必要な予算確保に向け、国や県と相談しながら、他の交付金事業が活用できないか検討を進める。
- ②公園の維持管理について、令和7年度に公園愛護作業報償金の増額を実施したが、引き続き地域団体と意見交換を行い、今後の適切な維持管理について検討を進める。
- ③物揚場改修工事（県工事）が完了し、一時避難していたプレジャーボートの移動がほぼ完了している。

令和8年度新規事業

	事業名	担当課	令和8年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	